

洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所

2024年度 活動報告書

1. 現代邦楽研究所の概要

■沿革

新しい邦楽専門の教育研究機関として 1995 年、東京目白に開設し“現代邦楽研究所”第 1 期が始まる。三味線演奏家、西潟昭子を代表として運営を開始。演奏、創作、教育、研究、プロデュースなど、様々な分野において日本の伝統音楽文化に貢献できる人材を育成輩出すべく、様々な講座を設定し広く教育活動を行う。また、演奏会やワークショップ活動、コンクール事業、新作委嘱、CD や書籍出版など、音楽文化への貢献活動も行う。2005 年(第 11 期) 4 月より、洗足学園音楽大学内に組織を移管し、大学附属研究所として“洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所”となる。2015 年度より、森重行敏が所長に就任。

2. 研究体制

■2024 年度 組織図

所長: 森重行敏(客員教授) 顧問: 松尾祐孝(教授) 主任: 大河内淳矢(尺八講師)

招聘員: クリストファーモリナ(特別招聘研究員・講師 後期のみ)

研究員: 石高万紀子(笛講師) 市川香里(箏講師) 川嶋信子(琵琶講師) 富田慎平(打楽器講師)

西川浩平(笛講師) 野澤佐保子(箏講師) 野澤徹也(三味線講師) 山中信人(三味線講師)

吉原佐知子(箏講師)

研究助手: 産形典子(卒業生) 大友美由奈(修了生) 谷富愛美(修了生)

染谷美里(卒業生) 平原愛香(卒業生) 馮蕊(修了生)

■活動年表

1995 年 5 月～2023 年 3 月は現代邦楽研究所 2023 年度活動報告書にて報告

2024 年

4 月 現代邦楽研究所 第 30 期総合コース開講

4 月 現代邦楽研究所 第 30 期ワンテーマ講座開講

6 月 洗足学園大学付属幼稚園 演奏協力

7 月 現代邦楽コース「和のいろは」制作協力(以下、演奏会詳細は後述)

8 月 現代邦楽研究所 30 周年コンサート

9 月 洗足学園音楽大学「邦楽絵巻」制作協力

11 月 洗足学園音楽大学 邦楽ミュージカル 制作協力

12 月 洗足学園音楽大学 邦楽冬の演奏会 制作協力

2025 年

1 月 川崎市立生田小学校学校公演 演奏協力

1 月 現代邦楽研究所 第 30 期修了コンサート

2 月 中国科学文化協会視察交流

3 月 箏曲組歌演奏会(紀尾井小ホール)の後援

3 月 洗足学園音楽大学 第 15 回邦楽定期演奏会 制作協力

■第 30 期（2024 年度）講師 ※【専門分野】五十音順

芦垣美穂【三味線組歌】

1980 年東京藝術大学音楽学部講師拝命。2015 年第 20 回芦垣美穂箏三絃リサイタル 2017 年開軒 50 周年記念一穂会地唄箏曲演奏会を国立劇場(小劇場)に於いて開催。現在京都にて中澤真佐師に師事、柳川流三絃を習得中。NHK 邦楽百番、邦楽のひととき等放送レコード録音多数。「古典教材ライブラリー」を人間国宝 山本邦山氏、吉崎克彦氏と共に収録発売中。ソロアルバム「今に生きる古典の世界」I-VIII 発売中。「芦垣美穂演奏集-宮城道雄を謳う-」全 6 集発売中(芸術祭参加作品)。宮城社大師範、森の会会員、日本三曲協会会員、生田流協会会員、初心の会同人、一穂会主宰、名古屋音楽大学客員教授。

石垣清美【箏】

5 歳より生田流箏曲を学び、後に沢井忠夫に師事。'77 年初代石垣征山と第 1 回箏・尺八ジョイント・リサイタルを開催以来、国内外各地で回を重ねる。'85 年から熊谷守一美術館にて年 4 回 9 年間ジョイント・コンサートを開催。平成元年度「石垣清美 箏独奏会」の成果により、平成 3 年度「石垣征山・石垣清美 ジョイント・リサイタル vol.5」の成果により、文化庁芸術祭賞を受賞。コロムビアより CD「石垣清美 箏・十七絃の世界」「沢井忠夫デュオ作品集」「石垣清美・沢井忠夫をうたう」他発売。国際交流基金の派遣などによりアメリカ、東南アジア、アルゼンチン、スペイン、中東、他を訪問。沢井箏曲院教授。邦楽音心会主宰。NHK 邦楽技能者育成会、京都女子大学卒業。洗足学園音楽大学名誉教授。

石高万紀子【笛】

幼少より生田流箏曲を橘民子師に師事。1983 年より琴古流尺八を父の石高琴風より指導を受ける。同年 6 月よりフルートを日本フィルハーモニーの立川和男氏に師事。1991 年より琴風会の「手ほどき組」にて指導を開始、1993 年からは琴風の代範として指導を開始、地方支部の演奏会、講習会に参加。1994 年、NHK 邦楽技能者育成会 39 期修了。1995 年「石高万紀子リサイタル」を催す。サイパンでの戦没者慰霊祭はじめ、国際交流基金派遣事業としウクライナ・リトアニアでの公演やオリンピック文化事業でのギリシャ公演に参加。2010 年父、琴風より琴風会を受け継ぐ。

大河内淳矢【尺八】

桐朋学園芸術短期大学日本音楽専修尺八専攻卒業。NHK 邦楽技能者育成会卒業。自作曲を中心に演奏活動を行うほか、ジャンルを越えたアーティストとの共演も積極的に行う。国内のフェスティバルほか、海外公演にも多数出演し 2012 年に外務省在外公館長表彰を授与される。イベントや楽曲プロデュースも手がける。ドラマ、CM、舞台、映画、ゲーム音楽、アーティストのレコーディング等にも多数参加。学校公演なども積極的に行い、子どもたちに和楽器の音色を届けている。オリジナル CD を 3 枚リリース。2017 年より大倉文化財団と契約を結び、尺八とフルートを融合した楽器“オークラウロ”の奏者としても活動している。洗足学園音楽大学講師、現代邦楽研究所講師。

川嶋信子【琵琶】

桐朋学園大学短期大学部芸術学科(現・桐朋学園芸術短期大学)卒業。役者として数多くの舞台に出演しCMなどでも活躍。その後、日本の音に惹かれる自分に気づき琵琶と出会う。2000 年より、薩摩琵琶を鶴田流・岩佐鶴文に師事。イベント出演や神社仏閣、美術館、クルーズ船などさまざまな場で琵琶の魅力を発信し、平家ゆかりの地でも毎年演奏を行う。他にも無声映画に楽師としての参加や、講談や舞踏など他ジャンルとの共演など、その活動は多岐に渡る。平家物語などの古典曲のみならず、積極的に創作活動を行い毎年新作を発表。特に“かたりもの”としての声には定評があり、力強い低音から透き通るような高音まで、奥行きのある響きと表現で物語を伝えている。2011 年より 1 日体験教室“まなびわ”を毎月開講。築 100 年の蔵での琵琶体験は、その風情と共に琵琶を楽しく学べると好評を得ている。また琵琶ひとひら会を立ち上げ、琵琶を定期的に聴ける寄席のような場“びわづくし”を開催するなど、琵琶の普及活動にも尽力を注いでいる。第 53 回、第 56 回琵琶楽コンクール第二位入賞 NHK 邦楽オーディション合格。日本琵琶楽協会会員、鶴田流・鶴翔会会員、琵琶ひとひら会代表

砂崎知子【箏】

東京藝術大学邦楽科を卒業、同大学院修了。宮城喜代子、小橋幹子、上木康江の各氏に師事。これまでに東京藝術大学非常勤講師、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学邦楽科客員教授を歴任する。リサイタルは、1974 年の第 1 回よりこれまでにのべ 40 回以上を開催し、1987 年の第 17 回リサイタルに対し文化庁芸術祭優秀賞を受賞、1999 年には大阪ドーンセンターで開催したリサイタルに対し大阪文化祭賞を受賞、2006 年開軒 40 周年記念リサイタルを国立小劇場にて開催、2011 年のリサイタル「協奏曲のタベ」に対し芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した。1978 年発表の「琴ヴィヴァルディ四季」(東芝 EMI)を皮切りに、クラシックを箏で演奏した画期的なレコードは異例の 40 万枚を売り上げ、その後 CD 化に至る。1989 年にソロアルバム「ベストテイク」(ビクター)を発売。2007 年より宮城道雄作品集シリーズ「春の海」「水の変態」「越天楽変奏曲」(日本コロムビア)を順次発売し、純邦楽 CD ランキングにて「春の海」は第 1 位、その他も上位を獲得した。2016 年 5 月にはこれまでの自作の新録音となる「砂崎知子作品集 1-3」CD を発売した。2007 年から 2011 年にかけて「砂崎知子箏コンサート全国ツアー」を企画し、この間に砂崎知子と琴ニューアンサンブルメンバーと共に国内の 29 カ所を巡り、各地で公演を開催した。これまでの様々な活動に対し、2016 年には伝統文化ポークラ賞優秀賞を受賞した。現在、全国小中学生箏曲コンクール、全国高校生邦楽コンクール審査員。NHK TV「にっぽんの芸能」、FM「邦楽百番」等に多数出演。東京・大阪・岡山に教室を持ち、多くの門人の為に日々指導にあたっている。

富田慎平【邦楽打楽器】

洗足学園音楽大学音楽学部音楽科打楽器コース卒業。在学中、洗足学園音楽大学主催第 9 回-11 回「室内楽コンサートオーディション合格者による」披露演奏会成績優秀者による卒業演奏会、現代音楽協会主催「現代の音楽展」、ドイツ「オストフリーストランド音楽祭」サントリーホール主催「レインボー21 デビューコンサート」などに出演。NHK-FM「日本の民謡」「民謡を訪ねて」、NHK-E テレ「民謡魂」、NHK-world「Blends」、テレビ東京「年忘れにっぽんの歌」「おはスタ 645」、フジテレビ「武器はテレビ SMAP×FNS27 時間テレビ」、読売テレビドラマ「猿ロック」、日本テレビ放送「Dr.倫太郎」、日本フィルハーモニー交響楽団第 642 回定期演奏会など出演。洗足学園音楽大学講師。

鳥居名美野【箏曲組歌】

東京藝術大学邦楽科卒業、同大学大学院修士課程修了、芸術修士号取得。市村綾能(実母)、五代・鳥居登名美(養母)、中能島欣一、初代・越野栄松、二代・高橋栄清に師事。昭和30年五代・名美野を襲名。昭和57年家元継承。昭和29年安宅賞。昭和55年・57年文化庁芸術祭優秀賞。平成14年文化庁長官賞。平成17年松尾芸能賞。米国ワシントン大学にて講師として1年、ウェスリアン大学にて客員芸術家として10年山田流箏曲を教授。アメリカ各地、多数の大学、カナダ、イギリス、中国にて演奏。現在、山田流古典曲保持者として箏曲組歌の研究、古典曲の研鑽と伝承に努めるとともに、演奏で活躍。山田流に伝わる組歌 全30曲の楽譜を出版。CD 鳥居名美野箏曲組歌第1集-第4集(日本伝統文化振興財団)。河東節・山彦登和子、一中節・宇治紫蝶の芸名を持つ。箏曲組歌会代表、山田流箏曲協会副会長、(社)日本三曲協会監事、「燿名会」主宰。

西川啓光【邦楽打楽器】

所属団体「オーケストラアジア」、日本音楽著作権協会。西川啓光と太鼓フループ「鼓友会」主宰。パール楽器製造株式会社「パール和太鼓」アドバイザー。著作「和太鼓をはじめよう!」(汐文社)。日本音楽集団の一員として「音楽之友社賞」「レミーマタン音楽賞」受賞。市川猿之助演出主演スーパー歌舞伎、シドニー市と東京都姉妹都市提携の友好使節団、大相撲アメリカ公演及びパリ公演等の音楽監督やプロデュースを行う。各地方の太鼓グループ等の演奏指導も行う。

野澤佐保子【箏】

幼少より母に生田流箏曲の手ほどきを受ける。現代奏法を福永千恵子師に、古典地歌箏曲を芦垣美穂師に師事。NHK 邦楽技能者育成会第41期卒業。現代邦楽研究所第4期修了。一般社団法人京都當道会師匠資格取得。名古屋大学文学部卒業。賢順記念全国箏曲コンクール第一位賢順賞受賞。東京邦楽コンクール奨励賞受賞。ビクター邦楽技能者育英賞受賞。蒲都市文化協会奨励賞受賞。NHK 邦楽オーディション合格(箏、十七絃箏)。2000年、2006年、2014年にリサイタルを行うほか、各種演奏会、演奏会企画公演など各地で行う。学校へのアウトリーチも積極的に取り組んでいる。CD録音参加、NHKFMラジオ出演多数。「やさしい箏入門」(ドレミ楽譜出版社刊)執筆。洗足学園音楽大学講師、桐生大学附属中学校講師、NHK 邦楽技能者育成会同窓会合奏団現代邦楽“考”団員、東久留米市邦楽連盟、蒲都市文化協会所属。

野澤徹也【三味線】

受賞歴は東京邦楽コンクール第1位、全国邦楽コンクール優秀賞他多数。CDは『三味線独奏曲集』(TY サポート受賞作品)の他、計18枚リリース。2019年『杵屋正邦作品集』を(公財)日本伝統文化振興財団よりリリースし、令和元年度(第74回)文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。2013年より放送の『につぼんの芸能』テーマ曲・挿入曲の演奏を担当。2020年6月には演歌歌手・五木ひろしコンサート「和楽器と奏でる日本のこころ」に出演。8月にはNHK 第一ラジオドラマ「料理人季蔵捕物控(西田敏行、竹下景子主演)」シリーズの三味線演奏を担当。洗足学園音楽大学講師。

松尾祐孝【作曲】

1959年東京生まれ。1984年東京芸術大学大学院修士課程修了。85年日仏現代音楽作曲コンクール特別賞、88年ACL 青年作曲賞第1位、92年ISCM 世界音楽の日々ワルシャワ大会入選、その他、村松賞、別宮賞

等、受賞多数。94 年には、代表作〈PHONOAPHEREI-尺八と管弦楽の為に〉が東京フィル欧州楽旅で絶賛を博す。以後、邦楽器の分野にも積極的に関わっており、2014 年に開催した《松尾祐孝邦楽器作品個展》は大きな反響を巻き起こした。国際交流活動にも積極的で、98 年ブザンソン国際作曲コンクール審査員、《ISCM 世界音楽の日々2001 横浜大会》等の実行委員長、メキシコ《セルバンティノ芸術祭 2005》招待作曲家、エクアドル《日本=エクアドル交流演奏会 2006》招待指揮者、NY《Music From Japan 2007》委嘱作曲家、ポルトガル《Musica Viva 2010》委嘱作曲家、ウクライナ《Donbas Modern Music Art 2013》招聘指揮者、等を歴任している。現在、(N 法)日本現代音楽協会理事、(公財)日本音楽教育文化振興会理事、(一社)日本木文化学会代表理事。

森重行敏【音楽学】

1979 年東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。大学在学中、故小泉文夫教授の薫陶により日本とアジアの音楽に関心を持ち、ガムラン音楽グループの創設に加わる。1979 年武蔵野音楽学院(調布市、廃校)にて楽典授業、学務副主任。1984 年(財)日本児童手当協会音楽事業部コーディネータとして青山・こどもの城(国立総合児童センター)における邦楽、ガムラン、合唱などの音楽講座の企画、運営にあたる。1990 年 PAN School of Music(渋谷区、廃校)にてイヤートレーニング担当、テキスト作成に携わる。1995 年現代邦楽研究所(目白)の開校時より、授業系主任としてカリキュラム作成、授業実施に携わる。2002 年桐朋学園大学短期大学部(現、桐朋学園芸術短大)にて日本音楽理論講義。2003 年東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科にて日本音楽概論講義。2005 年洗足学園音楽大学現代邦楽研究所および現代邦楽コースにて各種授業。2013 年尚美学園大学にて『諸民族の音楽』授業。洋楽、邦楽、ガムラン音楽分野の編曲作品、解説、著述多数。現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、聖心女子大学、尚美学園大学にて授業担当。他に NPO 法人日本ガムラン音楽振興会理事。一般財団法人杉並児童合唱団代表理事。近年のおもな業績 2012 年「ビジュアル版・和楽器事典」(単著) 汐文社刊。2013-2015 国立劇場邦楽公演専門委員。2015 年度より洗足学園音楽大学客員教授および現代邦楽研究所所長。

山下名緒野【箏曲組歌】

幼少より母に手ほどきを受ける。昭和 47 年鳥居名美野師に師事。現在に至る。昭和 47-53 年 市村綾能師に師事。昭和 53 年東京藝術大学卒業。昭和 55 年 NHK 邦楽技能者育成会修了。昭和 60 年文化庁国内研修員に任命される。平成 19 年-21 年東京芸術大学非常勤講師。平成 22 年より洗足学園音楽大学現代邦楽研究所箏曲組歌講師。河東節を山彦さわ子師に師事し山彦みや子に、荻江節を荻江さわ師に師事し荻江りおを、一中節を十二世 都一中師に師事し都一恵の名前を許される。「邦楽百番」「芸能花舞台」等出演。日本三曲協会、山田流箏曲協会。

山中信人【津軽三味線】

中学校卒業後 15 歳で単身青森県弘前市に渡り、津軽三味線奏者山田千里(やまだちさと)の内弟子として 4 年間修業。津軽三味線山田千里流師範となる。毎年青森県弘前市でおこなわれる津軽三味線世界大会では最上級 A 級 3 連覇を達成し殿堂入り。また津軽民謡の伝統的な唄付けの技術を競い合う「唄付け伴奏部門」で 3 回の優勝を獲得。海外計 38 の国と地域で演奏。約 16 年にわたり「南中ソーラン」など現代風にアレンジした民謡を演奏する伊藤多喜雄&タキオバンドのメンバーとして活動。世界を意識した活動を行う埼玉県にゆかりのある個人や団体に贈られる「平成 29 年度埼玉グローバル賞」を受賞。「平成 30 年度北本市文化奨励賞」を受賞。

現在はソロ奏者として演奏会、学校公演、講演会などで活動中。洗足学園音楽大学講師。加須市観光大使。北本市観光大使。埼玉親善大使。

吉原佐知子【箏】

東京藝術大学邦楽科生田流箏曲専攻卒業。NHK 邦楽技能者育成会卒業。現代邦楽研究所第 1 期卒業。同所にてビクター邦楽技能者育英賞受賞。全国高校生邦楽コンクール準優賞。賢順記念全国箏曲コンクール銅賞、奨励賞受賞。NHK オーディション合格。「和楽器にチャレンジ箏」(汐文社)執筆担当。日本三曲協会、生田流協会、森の会、あいおいの会会員。洗足学園音楽大学、熊本大学、東京都市大学等々力中高箏曲部講師。

特別招聘研究員・講師

Christopher Molina (クリストファー モリナ)【作曲】

ボストン出身。ミドルベリー大学文学士、ミシガン大学作曲修士、ハワイ大学作曲博士。博士論文「Beyond November Steps: Takemitsu's Other Double Concertos」で取得。作曲家 Donald Womack, Betsy Jolas, William Bolcom, 盛宗亮, Su Lian Tan に師事。皇太子明仁親王財団、国際交流基金、ハワイ大学日本研究所などから助成金を得る。タカーチ弦楽四重奏団、サンクトペテルブルク弦楽四重奏団、上海フィルハーモニー、ミシガン大学交響楽団、セージ・シティ交響楽団によって初演される。東アジアの伝統楽器とクラシック音楽を融合させ、ジャズやフォークの影響を讃え、自然界に関連する美学を追求している。ドイツでピアノ、フランスで合唱音楽、日本で三曲を学んだ後、2015 年から尺八を主要な創作の源泉として作曲活動を行う。眞玉和司のもとで尺八を学ぶ。

3. 研究活動

■研究の概要

現代邦楽研究所における研究活動の大きな柱は、演奏活動と教育活動の 2 本柱にある。演奏会活動については、作曲家への邦楽器による新たな作品の委嘱や初演を手がけ、優れた現代邦楽作品の演奏紹介を行うほか、古典についても、現代に生きる音楽としての視点から、演奏や研究活動を行っている。教育活動については専門性を高める教育と同時に、幅広く日本の伝統音楽を体験してもらう方法論として、音楽づくりの手法を取り入れた教育の研究と実践を進めている。

4. 現代邦楽研究所協力

■演奏会

現代邦楽研究所の講座研究生による成果発表の場となる修了コンサートが開かれた。

また、開催に協力した演奏会の概要を下記に示す。

出演

大学院生:張梓豪(院2・琵琶) 郭雅文(院1・箏) 川田健太(院1・箏) 李覃琛(院1・三味線)

学部生:鄭啓源(学2・笛) 林彩葉(学2・箏) 小松千栄(学1・笛)

現代邦楽研究所研究生:磯部桐笛(箏) 碓井由希子(箏)

助演・講師

石高万紀子(笛講師) 市川香里(三味線講師) 大河内淳矢(尺八講師) 川嶋信子(琵琶講師)

野澤佐保子(箏講師) 野澤徹也(三味線講師) 富田慎平(太鼓講師)

司会

松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

◎現代邦楽研究所 創立30周年記念演奏会

日時:2024 年 8 月 24 日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)

会場:洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン1F

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

入場:2,000円

曲目

「UTA I・II」 鳥養潮作曲

「三つの無言歌」 浦田健次郎作曲

「新譜音悦多Ⅲ～架空の民謡による音風景～」 松尾祐孝作曲

「ジャワリ」 玉木宏樹作曲

「遠雷の時」 菅野由弘作曲

出演

大学院生:川田健太(院1・箏)

現代邦楽研究所研究生:磯部桐笛(箏) 碓井由希子(箏)

現代邦楽コース卒業生:産形典子(箏) 郝翼田(三味線) 呉(箏) 谷富愛美(箏)

染谷美里(三味線) 平原愛香(箏)

現代邦楽研究所修了生:大坂智子(箏) 大原修子(箏) 菊池朱実(箏) 栗原紀己(箏) 酒井高子(箏)

桜井由美(箏) 倭文美智子(箏) 関美保子(箏) 橋本石基(箏) 馬場恵子(箏)

松本愛子(三味線) 間村さつき(箏) 矢吹昌江(箏) 渡辺澄子(箏)

助演・講師

石高万紀子(笛講師) 市川香里(三味線講師) 大河内淳矢(尺八講師) 佐藤秀嗣(太鼓講師)

野澤佐保子(箏講師) 野澤徹也(三味線講師) 西川啓光(太鼓講師)

司会

森重行敏(現代邦楽研究所 所長)



◎洗足学園音楽大学「邦楽ミュージカル公演」

日時:2024年11月30日(土) 18:00開演 (17:30開場)

12月1日(日) 14:00開演 (13:30開場)

会場:洗足学園音楽大学キッズスクエア1階 MUSIC POOL CINO

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

入場:無料

曲目

「三人娘☆恋仇討」 篠原真作曲

脚本:中屋敷法仁 演出・潤色:倉迫康史

作曲・音楽監督:篠原真

出演

吉原佐知子(箏講師) 産形典子(卒業生・箏) 谷富愛美(卒業生・箏)

野澤徹也(三味線講師) 神令(尺八助演) 大河内淳矢(尺八講師) 富田慎平(打楽器講師)

ミュージカルアンサンブル ミュージカルコース選抜



◎洗足学園音楽大学「冬の邦楽演奏会」

日時:2024年12月14日(土) 15:00開演 (14:30開場)

会場:洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン 1F

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

入場:無料

曲目

「さらし風手事」 宮城道雄作曲

「春の宴」 鶴田錦史作曲

「間奏曲・三絃と十三絃のための」 川崎絵都夫作曲

「百花譜」 沢井忠夫作曲

「冬の一日・パート2」 長澤勝俊作曲

出演

大学院生:張梓豪(院2・琵琶) 郭雅文(院1・箏) 川田健太(院1・箏) 李羣琛(院1・三味線)

学部生:鄭啓源(学2・笛) 林彩葉(学2・箏) 小松千栄(学1・笛)

現代邦楽研究所研究生:磯部桐笛(箏) 碓井由希子(箏)



助演・講師

大河内淳矢(尺八講師) 川嶋信子(琵琶講師) 野澤佐保子(箏講師) 野澤徹也(三味線講師)
吉原佐知子(箏講師) クリストファーモリナ(尺八・国際交流助演)

司会

松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

◎洗足学園音楽大学「第15回邦楽定期演奏会」

日時:2025年3月20日(木・祝) 15:00開演(14:30開場)

会場:洗足学園音楽大学 前田ホール

主催:洗足学園音楽大学・大学院

協力:現代邦楽研究所

入場:無料

曲目

オープニング「鹿の遠音」 作曲者不詳

「森の記憶」 吉川和夫作曲

「春の宴」 鶴田錦史作曲

「さらし風手事」 宮城道雄作曲

「螺旋の詩」 松尾祐孝作曲

「太棹協奏曲」 牧野由多可作曲

出演

大学院生:張梓豪(院2・琵琶) 郭雅文(院1・箏) 川田健太(院1・箏) 李覃琛(院1・三味線)

学部生:鄭啓源(学2・笛) 林彩葉(学2・箏) 小松千栄(学1・笛)

現代邦楽研究所研究生:磯部桐笛(箏) 碓井由希子(箏)

現代邦楽研究所卒業生・関係者:大坂智子 大原修子 酒井高子 新保真佐江

助演・講師

石高万紀子(笛講師) 大河内淳矢(尺八講師) 川嶋信子(琵琶講師) 神令(尺八助演)

野澤佐保子(箏講師) 吉原佐知子(箏講師) 富田慎平(打楽器助演)

産形典子(卒業生・箏) 染谷美里(卒業生・三味線) 谷富愛美(卒業生・箏) 平原愛香(卒業生・箏)

司会

松尾祐孝(現代邦楽コース教授)

国際連携:IWCS 国際木文化学会 / (一社)日本木文化学会

《World Wood Day 2025 JAPAN》としてインターネット配信を実施



■講座

現代邦楽研究所提携・かわさき市民アカデミー「日本の伝統芸能講座」

講座 25	伝統芸能の楽しみを見直す			
	【定員】100名 【受講料】2年会員15,380円 1年会員17,060円 聴講生22,080円 『音楽・芸能』日本の伝統芸能 【時間】毎回13時30分～15時00分（計12回）			
	伝統芸能の危機が叫ばれています。愛好者や演奏者の減少、国立劇場の長期閉館なども話題を呼んでいます。私たちにとって伝統芸能とは何のためにあるのか、その楽しみはどこにあるのかを改めて考えます。演奏ゲストもお迎えします。			
概要				
回	月/日（曜）	会 場	学 習 内 容	講師名（敬称略）
1	4 / 8 (月)	高津市民館 大会議室	伝統芸能を見直す(1) 日本史の中の芸能	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重 行敏
2	4 / 22 (月)		伝統芸能を見直す(2) 古代芸能への視点。復元楽器のいろいろ	
3	5 / 13 (月)		伝統芸能を見直す(3) 中世芸能を知る。芸能の原点を辿る	
4	5 / 27 (月)		伝統芸能を見直す(4) 近世芸能の成り立ち	
5	6 / 10 (月)		伝統芸能を見直す(5) 近世芸能の成熟	
6	6 / 24 (月)		伝統芸能を見直す(6) 近代日本における芸能	
7	7 / 8 (月)		三味線のいろいろ【ゲスト 上原 潤之助】**1	
8	7 / 22 (月)		世界の中の日本音楽 日本の芸能の独自性とは	
9	8 / 5 (月)		日本音楽の音階と理論1 古代	
10	8 / 26 (月)		日本音楽の音階と理論2 近世	
11	9 / 2 (月)		箏曲の歴史を聴く【ゲスト 吉原 佐知子】**2	
12	9 / 9 (月)		まとめ 伝統芸能はどこへ行くのか	
連絡 事項	*1,*2の回は演奏家の方を招いて演奏会を予定しております。この日はこの講座の受講生以外の方も受講できる日です。資料代として2,000円をいただきます。受講をご希望される方は事前の申込みの必要はありません。当日直接会場へお越しください。			

講座 25	日本芸能史を多角的な視点で探る			
	【定員】100名 【受講料】2年会員15,380円 1年会員17,060円 聴講生22,080円			
	『音楽・芸能』日本の伝統芸能 【時間】毎回13時30分～15時00分（計12回）			
概要	日本の音楽・芸能には、古典芸能や民俗芸能とは別に、外来文化の影響、少数派の分野なども数多くあります。今期はこうした日本の芸能の「もうひとつの側面や視点」に注目します。			
回	月/日（曜）	会 場	学 習 内 容	講師名（敬称略）
1	9 / 30 (月)	高津市民館 大会議室	古代芸能と外来文化：雅楽に見られるアジア各地の文化の痕跡	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重 行敏
2	10 / 7 (月)		キリシタン音楽と箏曲：六段と聖歌の関係は？	
3	10 / 28 (月)		明清楽と流行歌：月琴、一弦琴から大正琴への系譜	
4	11 / 11 (月)		唱歌と讃美歌：小学唱歌集の原曲を探る	
5	11 / 25 (月)		軍楽隊からジンタ、チンドン：街角に出た音楽隊の歴史	
6	12 / 2 (月)		浅草オペラと宝塚：大正期の東西大都市の音楽文化	
7	12 / 9 (月)		チャイニーズ歌謡：国策映画と音楽、そして李香蘭と服部良一	
8	12 / 23 (月)		クリスマスソングはどこから来たか：街を彩る名曲のルーツは？	
9	1 / 27 (月)		沖縄の芸能：（ゲスト/名嘉ヨシ子ほか）琉球音楽で新年を寿ぐ **1	
10	2 / 10 (月)		国民歌謡の世界：官製歌謡曲は成功したのか。海行かばの功罪	
11	3 / 3 (月)		ブギとひばり：歌謡曲にジャズが与えた影響	
12	3 / 10 (月)		民謡の新しい風 ゲスト/おもだか秋子(民謡歌手) **2	
連絡事項	**1,**2の回は実演を予定しております。この日はこの講座の受講生以外の方も受講できます。受講料として各回2,000円をいただきます。事前の申込みの必要はありません。当日直接会場へお越しください。			

■第 30 期 現代邦楽研究所 総合コース実施概要

日程	講義 13:00～14:30 C301		アンサンブル実習 15:00～17:00 C501	
4 月 13 日	現代邦楽概説	森重行敏	実習準備①線譜と邦楽	森重行敏
4 月 20 日	日本の楽器概説	森重行敏	実習準備②音階と音律	森重行敏
4 月 27 日	明治期の音楽事情	森重行敏	合奏曲 A	松尾祐孝
5 月 11 日	大正・昭和前期の音楽事情	森重行敏	合奏曲 A	松尾祐孝
5 月 18 日	都山流尺八の成立	田辺頌山	合奏曲 A	松尾祐孝
5 月 25 日	宮城道雄の作品	深海さとみ(吉原佐知子)	合奏曲 A	松尾祐孝
6 月 1 日	中能島欣一の作品	田中奈央一	合奏曲 B	松尾祐孝
6 月 8 日	藤井凡大の作品	野澤佐保子	合奏曲 B	松尾祐孝
6 月 15 日	杵屋正邦の作品	野澤徹也	合奏曲 B	松尾祐孝
6 月 22 日	正派と唯是震一の作品	奥田雅楽之一	「和のいろは」合奏曲	松尾祐孝
6 月 29 日	アメリカの邦楽事情	木村伶香能	「和のいろは」合奏曲	松尾祐孝
7 月 6 日	琵琶による現代作品	川嶋信子	「和のいろは」合奏曲	松尾祐孝
7 月 13 日	胡弓による現代作品	木場大輔	合奏曲	松尾祐孝
7 月 13 日	演奏会「和のいろは」	-	「和のいろは」演奏会	-
7 月 20 日	雅楽による現代作品	中村華子	ガムラン	森重行敏
7 月 27 日	現代邦楽研究所の委嘱作品	森重行敏	邦楽ソルフェージュ	森重行敏
9 月 7 日	山本邦山の作品	田辺洸山	邦楽ソルフェージュ	森重行敏
9 月 14 日	沢井忠夫の作品	石垣清美	合奏曲 D	大河内淳矢/松尾祐孝
9 月 21 日	長澤勝俊の作品	吉原佐知子	合奏曲 D	川嶋信子/松尾祐孝
9 月 28 日	牧野由多可の作品	石川憲弘	合奏曲 D	野澤佐保子/松尾祐孝
10 月 5 日	三木稔の作品	野澤徹也	合奏曲 D	野澤徹也/松尾祐孝
10 月 12 日	作曲家から見た邦楽	菅野由弘	合奏曲 E	川嶋信子/松尾祐孝
10 月 19 日	湯浅譲二、一柳慧	福永千恵子	合奏曲 E	石高万紀子/松尾祐孝
10 月 26 日	尺八の現代作品	大河内淳矢	合奏曲 E	大河内淳矢/松尾祐孝
11 月 2 日	作曲家団体と邦楽	松尾祐孝	合奏曲 E	大河内淳矢/松尾祐孝
11 月 16 日	作曲から見た邦楽	川崎絵都夫	合奏曲 E	吉原佐知子/松尾祐孝
11 月 30 日	作曲から見た邦楽	高橋久美子	合奏曲 E	野澤佐保子/松尾祐孝
12 月 7 日	作曲から見た邦楽	山本和智	「冬の邦楽演奏会」	-
12 月 14 日	二十絃・二十五絃	花岡操聖	合奏曲 F	吉原佐知子/松尾祐孝
12 月 14 日	冬の邦楽演奏会	-	合奏曲 F	吉原佐知子/松尾祐孝
12 月 21 日	世界の音を聴く	藤本草	-	-
1 月 11 日	前期後期まとめ	森重行敏	-	-
3 月 20 日	第 14 回 邦楽定期演奏会	-	-	-

■第 30 期 現代邦楽研究所 ワンテーマ講座実施日

	10:00～	12:30～	15:00～	12:30～	12:30～	15:00～
日程	十七絃奏法研究講座 (石垣清美)	箏曲組歌研究講座 (鳥居名美野)	三絃・箏組歌講座 (芦垣美穂)	箏合奏研究講座	楽しい箏合奏講座 (吉原佐知子)	楽しい鼓講座 (西川啓光)
4 月 13 日		①		① (川崎絵都夫)		
4 月 20 日	①					①
4 月 27 日				② (川崎絵都夫)	①	
5 月 11 日			①			
5 月 18 日	②					②
5 月 25 日		②				
6 月 1 日			②		②	
6 月 8 日						
6 月 15 日	③			③ (木村玲子)		③
6 月 22 日						
6 月 29 日		③		④ (木村玲子)		
7 月 6 日			③			
7 月 13 日	④				③	
7 月 20 日						④
7 月 27 日		④				
9 月 7 日					④	
9 月 14 日	⑤		④			
9 月 21 日				⑤ (砂崎知子)		
9 月 28 日		⑤				⑤
10 月 5 日			⑤		⑤	
10 月 12 日				⑥ (砂崎知子)		⑥
10 月 19 日						
10 月 26 日	⑥	⑥				⑦
11 月 2 日	⑦		⑥		⑥	
11 月 16 日						
11 月 30 日		⑦		⑦ (江戸信吾)		
12 月 7 日	⑧				⑦	
12 月 14 日				⑧ (江戸信吾)		⑧
12 月 21 日		⑧	⑦		⑧	
1 月 4 日						
1 月 18 日			⑧			
3 月 20 日						

5. 所蔵物

楽器

大学授業および現代邦楽研究所講習などで活用するための楽器として箏(十三絃/十七絃)、三味線、尺八、笛、邦楽打楽器などを備品として保管、管理。

楽譜

現代邦楽作品の五線譜楽譜を中心に約 300 曲を保有。

CD・DVD

研究用に購入もしくは寄贈された CD、DVD など、約 200 点を保有。

その他、過去の演奏会や講習の記録ビデオ、録音音源を保有。

6. 現代邦楽研究所事務局

〒213-8580

神奈川県川崎市高津区久本 2-3-1

洗足学園音楽大学内アンサンブルシティ 5 階 C503

電話 & FAX: 044-856-2932

メール: genhouken01@senzoku.ac.jp

HP: <https://www.senzoku.ac.jp/music/laboratory/traditional>

